

5月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/05/01 (木)	東京は株価にらみの展開。日経平均が弱含みとなったことで円買いが一時進行したものの行って来い。欧米は発表された米経済指標が強弱混在し材料視にくい。ただ米株は堅調で、それに併せたドル買い	・UAE中銀が米国に追随し翌日物利金金利を0.25%引き下げ ・3月の米個人所得0.3%、同支出0.4%、同コアPCE価格指数0.2%、同建設支出 1.1%、4月のISM製造業景況指数48.6	・ブラチワラ-BOE委員「景気の下振れリスクが拡大している」 ・FT紙「金融市場は最悪期を脱したとBOEが示唆」 ・FRB議長「FRBは常にあらゆる政策手段を検討」	103.93 104.60 103.54 104.44	162.39 162.43 160.61 161.62	寄付 安値 高値 終値
08/05/02 (金)	東京はGW後半戦を前にした前にした仲値不足観測などからドルが小じっかり。ドル/円は105円台へ。欧米は米雇用統計が予想をやや上回る内容だったことやFRB声明を好感しドルは続伸。	・香港が米国に追随し割引基準金利を0.25%引き下げ ・4月の米失業率5.0%、同非農業者雇用数 2万人、3月の米製造業受注1.4%	・仏首相「為替市場の過剰変動やユーロ高はすべての国にリスク」 ・FRB声明「隔週実施TAFの入札規模を500億ドルから750億ドルへ引上げ」	104.38 105.70 104.38 105.38	161.56 162.63 161.56 162.54	寄付 安値 高値 終値
08/05/05 (月)	東京休場でアジアは総じて手控えモード。値動きはレンジ内での一進一退に留まった。英国市場で欧州も開散。米国は発表された米経済指標が良好ながらモルスタの発表を嫌気しドル買えず。	・モルガンスタンレーが新たな雇用削減策を発表 ・4月のISM非製造業総合指数52.0 ・日英市場が休場	・著名投資家バフェット氏「米経済はリセッションにある」	105.43 105.63 104.74 104.85	162.76 163.10 162.31 162.48	寄付 安値 高値 終値
08/05/06 (火)	東京は高い開散のなかショートカーによるドル買戻し優勢。一方、中銀声明を受けて豪ドル弱含み。欧米はヘッジファンドの破綻観測などからドル売り先行。しかしファニーメイへの資本規制緩和観測で流れ反転。	・日本市場が休場 ・豪州が政策金利の据え置き決定 ・ヘッジファンド破綻の噂 ・UBSが決算発表、そのなかで115億SFの追加損失発表	・豪中銀声明「現行の金融政策スタンスは適切」 ・米連邦住宅公社監督局「ファニーメイに課している自己資本の上乗せ分を現行の20%から15%に引き下げる方針」	104.93 105.13 104.02 104.77	162.68 162.80 162.00 162.74	寄付 安値 高値 終値
08/05/07 (水)	東京は香港や上海といったアジア株式が買戻し円売り優勢。一方発表された英指標買戻し円独歩安。欧米はNYダウが200ドル以上下落するもドル底堅い。ユーロやポンドは引き続き弱含み。	・英テレグラフが英利下げ観測報道 ・第1四半期の米非農産物部門労働生産性2.2%、同単位労働費用2.2%、3月の米中古住宅販売保留 1.0% ・一部報道「SECが証券会社に対する開示義務強化の方針」	・カナダスチエ連銀総裁「これまでの利下げで景気減速阻止には十分」 ・欧州委員会「入札の2009年1月ユーロ導入を勧告」 ・ロスナーFRB理事「住宅差押さえの急激な増加は緊急要する問題」	104.92 105.59 104.61 104.74	162.81 163.07 161.02 161.23	寄付 安値 高値 終値
08/05/08 (木)	東京はFT紙の報道からユーロが急落。ただしドルも買戻し、結果として円独歩高の様相に。欧米はECBなどの金融政策をにらみつつ様子合い。ドルは発言も期待ほど強くない、ユーロ買いに繋がらず。	・韓国が金利据え置きを決定 ・英国が金利据え置きを決定 ・ECBが金利据え置きを決定 ・3月の米卸売在庫 0.1%	・FT紙「欧米の通貨当局者は対ユーロでのドル高を望む」 ・ECB総裁「現在の政策はインフレ抑制」 ・米財務長官「強いドルは米国の利益に叶うとの考え常に支持する」	104.90 104.94 103.40 103.74	160.96 161.08 159.05 159.71	寄付 安値 高値 終値
08/05/09 (金)	東京は前日の流れもあり、ユーロが買戻し、円はクロスを中心に対ドルでも小じっかり。欧米はスティグに関する報道や米株が下落したことで円が続伸、ドル/円は102円台へ。	・3月の景気先行指数20.0% ・3月の米貿易収支 582.1億ドル、対日 74.9億ドル、対中 160.78億ドル ・スティグが非中核事業を売却発表	・マロニック米財務次官「中国は人民元の上昇加速を維持し、金融部門の改革を推進すべき」	103.85 103.85 102.61 102.88	159.97 159.97 158.60 159.28	寄付 安値 高値 終値
08/05/12 (月)	東京はワザ-ハ-紙報道が円高要因となったものの、WSJ紙報道で流れが反転しドルは高値引け。欧米はNYダウや原油価格の動向をにらみつつドルが小じっかり。ECB総裁発言にもかかわらずユーロ強	・英ワザ-ハ-紙「HSBCが米消費者向け融資の評価損46億ドル発表」 ・WSJ紙「G7声明に盛り込まれたドル安懸念は米政府の要請によるも」 ・中国が預金準備率を0.5%引き上げ ・4月の米財政収支1593億ドル	・日銀総裁「景気の下振れリスクにもっとも注意して政策運営」 ・シカゴ連銀総裁「現在の政策金利は緩和的で適切な水準」 ・ECB総裁「ECBはユーロ高を懸念」	102.65 104.04 102.61 103.77	158.79 161.53 158.79 161.39	寄付 安値 高値 終値
08/05/13 (火)	東京はとくに目立った円の買い材料がなかったものの、クロスを含めて円が小高く推移。欧米は米経済指標が予想よりも良好な内容となったことでドル買い優勢。インフレ懸念発言も買いを後押し。	・3月の米企業在庫0.1%、4月の米小売売上高 0.2%	・スウェーデン財務相「2008年末は利下げをしやすい」 ・FRB議長「金融市場の状況、正常からは程遠い」 ・カナダスチエ連銀総裁「インフレは容認出来ない水準」	103.88 104.93 103.39 104.75	161.36 162.35 160.15 162.08	寄付 安値 高値 終値
08/05/14 (水)	東京は仏財務相発言からユーロが買戻し、円は高値引け。ただ大崩れもなく対ドル、円とも底堅い。欧米は米インフレ指標の伸びが鈍化したことやヘッジファンド連銀総裁発言を嫌気しドル売りがやや優勢。	・3月経常黒字2兆8825億円、4月の国内企業物価指数0.6% ・英中銀四半期インフレ報告「今後2年にわたりCPIは目標の2%上回る」 ・4月の米CPIは0.2%	・仏財務相「1.55ドル台のユーロは20%近く過大評価されている」 ・オーストラリア連銀総裁「米経済は著しく減速、金融機関への一段の重石」 ・スウェーデン中銀総裁「CPIが高い水準に留まることは容認出来ない」	104.75 105.45 104.58 105.05	162.06 162.90 161.73 162.58	寄付 安値 高値 終値
08/05/15 (木)	東京はドル-日仲値不足観測からドル高で寄り付くも続かず。その後は売りに押される展開となった。欧米は発表される米経済指標が悪化したものが多くドルの売り要因に。一方、原油価格が買戻しユーロ連れ安。	・3月機械受注 8.3% ・第1四半期の独GDP速報値1.5% ・4月の米鉱工業生産 0.7%、同設備稼働率79.7%、5月のNY連銀指数 3.2、同FF連銀指数 15.6、同NAHB住宅市場指数19、3月の対米証券投資-ドル483億ドルの売り越し ・米財務省が四半期為替報告発表	・SF連銀総裁「FF金利は十分引き下げられた」 ・英首相「BOEが追加利下げできることを希望」 ・独連銀総裁「利上げの可能性は依然存在」	105.17 105.30 104.43 104.75	162.67 162.95 161.67 161.82	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで